

主な議案より



市民の福祉の向上をめざす新たな拠点が10月に開設



多摩平の開発に伴い市に提供される公共施設が「福祉支援センターたまだいら」として、10月にオープンします。2階は日野市社会福祉協議会の事務所（中央福祉センターより移転）、1階は多世代が交流できるスペースとして活用される予定です。相談、参加、つながりなど**包括的な支援体制の拠点**として、市全体の更なる福祉の向上に資するよう求めました。

また市内には福祉支援センター（高幡の旧保健所）と福祉センターが4ヶ所ありますが、いずれも老朽化しています。公共施設再編の中で、その設置目的や事業から見直していくことを求めました。

新年度予算審議では、特別会計の担当でした。国民健康保険では、医療費抑制のため、ジェネリック医薬品が推奨されています。昨秋からは、ジェネリック医薬品がある先発医薬品を選択すると、特別な料金を支払うことになりました。しかし、アレルギーなど**体質で医療上の必要性があれば、特別な料金はかかりません**。市民、医師、薬剤師ともに、この情報を徹底周知することを求めました。（議案にはすべて賛成）



厚生省のチラシ

条例を活かした建設的な対話を（おしゃべりカフェ報告）



毎議会後に開催するおしゃべりカフェ。自動車工場跡地に建設予定のデータセンターは、建物の高さや環境への影響等、市民から不安の声が寄せられていることから、環境審議会の市民委員の方をお招きし、データセンターについて皆さんと一緒に学びました。

事業者から具体的なデータと対応策をできるだけ早くに示してもらうこと、そして日野市まちづくり条例や環境基本条例を活かし、これからの対話を重ねていきます。



1月19日@ひの市民活動支援センター

詳しくは
白井なおこ HPへ

学校給食の牛乳が選択できるように（お話会報告）



1月26日@ひの市民活動支援センター

牛乳が飲めない子、苦手な子がいます。多摩市では、子どもたちの心理的負担と廃棄される牛乳を減らしたいという市民の声より、牛乳選択制を2年前に導入しています。多摩・生活者ネットの議員より話を聞き、一番大切なのは子どもたちが楽しく給食を食べること、そして廃棄を減らす方法は子どもの声を聴き、子ども達自身が考えることが大切だと話し合いました。

日野市でも年間に未開封の牛乳が約8万本廃棄されています。この現状を変えるべく、議会質問へとつながります。

詳しくは
白井なおこ HPへ